

# 13 次の世代につなげる

- ・森林と私たちの暮らし、経済がともに持続可能で豊かな社会づくりに向けて、次の世代へ働きかけを行う
- ・森林や木、木材に親しみ、自ら考え、判断して行動できる人づくりに取り組む

取組事例

54

## みえ森林教育アドバイザー派遣

～ 専門家と一緒に考える、森林をフィールドとした保育活動 ～

社会福祉法人 微笑会 きしだこども園



2回目：保育士を対象とした勉強会の様子

|       |                                  |
|-------|----------------------------------|
| 実施時期  | 令和5年10月～令和6年1月                   |
| 実施場所  | きしだこども園及び周辺山林                    |
| 時間    | 1回目：3時間30分<br>2回目：3時間<br>3回目：4時間 |
| 対象・人数 | 保育士他園関係者6人                       |
| 講師    | 嘉成永慈氏                            |
| 備考    | 県事業                              |

|      |   |
|------|---|
| めざす姿 | 13 次の世代につなげる（01遊び・楽しむ、02親しむ、03興味・関心を持つ、04違いに気づく、05変化に気づく、06知識・技能を身に付ける、08地域の課題に目を向ける、10課題解決への参画、11行動を起こす、12仲間と活動する）   |
| ねらい  | 森林を活用した保育活動への保育士の理解を深め、実施に向けた課題解決に取り組む  |
| 内容   | <p>1回目・自然保育の候補地を視察し、保育を行うフィールドとして課題となる要素を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園から自然保育に取り組もうとする経緯や課題について聞き取る</li> <li>・2回目以降の進め方を調整する</li> </ul> <p>2回目・自然保育に対する保育士の不安や疑問を解消するため、保育士を対象として勉強会を実施し、自然保育への理解を深める</p> <p>3回目・5歳児を対象に専門家の指導の下、自然保育を実践する（午前中）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実践に対するふりかえりを行い、今後、自然保育を進めていくうえでの課題や展望を整理する</li> </ul> |



1回目：自然保育の候補地の視察の様子



3回目：自然保育の実践の様子

|        |  |
|--------|--|
| 取組の結果  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強会を実施することで、保育士と園の間で自然保育に対する共通認識が持てた。</li> <li>・ケガ等の事故が発生した際の対処法が明確になり、緊急連絡網や対応マニュアルの整備を進めることになった。</li> <li>・自然保育を取り入れるため、園の保育計画を見直すこととなった。</li> </ul> |
| 保育士の反応 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林教育のすばらしさをあらためて実感した。</li> <li>・児童の行動にあまり干渉せず、子供たちの自主性に任せられるようにする。</li> <li>・今後は森での自然保育の時間を少しずつでも増やしていきたい。</li> </ul>                                  |